

### 30.2023年度 大分県てんかん地域連携体制整備事業活動報告

大分大学医学部附属病院 脳神経外科/医療情報部 松田 浩幸

#### 1. 概要

大分大学医学部附属病院は、2023年10月18日に大分県よりてんかん地域連携体制整備事業におけるてんかん支援拠点病院の指定を受け、活動を開始した。

体制としては、専任コーディネーター1名（看護師）を新規に雇用、コーディネーターと院内のてんかん専門医2名（小児科・脳神経外科）が中心となって活動を行っている。

#### 2. 活動内容

##### 1) 大分県てんかん医療・地域連携協議会

2024年1月11日に2023年度第1回大分県てんかん医療・地域連携協議会を開催、てんかん地域連会体制整備事業・てんかん支援拠点病院の事業計画について検討、承認を得た。

協議会構成員は以下の通り。

	氏名	所属	
1	石田 重信	あけのメディカルクリニック 理事長・院長 (一般社団法人大分県医師会)	てんかん専門医
2	岡成 和夫	大分県立病院 小児科	
3	朝倉 豊美	公益財団法人日本てんかん協会大分県支部代表	家族
4	土山 幸之助	大分県こころとからだの相談支援センター所長	都道府県
5	林下 陽二	大分県南部保健所所長 (大分県保健所会長)	
6	柳井 孝則	大分県障害福祉課課長	
7	松田 浩幸	大分県てんかん支援拠点病院 (大分大学医学部附属病院脳神経外科)	事務局兼委員
8	小林 修	大分県てんかん支援拠点病院 (大分大学医学部附属病院小児科)	
9	佐々木 基子	大分県てんかん支援拠点病院 (コーディネーター・看護師)	事務局
10	原尻 美幸	大分県障害福祉課精神保健福祉班 参事	
11	山辺 大輔	大分県障害福祉課精神保健福祉班 技師	

##### 2) てんかん電話相談窓口

コーディネーターによる市民向け電話相談窓口を開設した。

・相談内容：10月から1月までに30件の問い合わせがあり、そのうちてんかん患者および家族からが26件であった。開設当初は、「てんかん支援拠点病院について」や「てんかん専門医について」の問い合わせが多く（各9件）、「治療・検査に関すること」が13件、「他医療機関紹介（てんかん外来のある施設）」が12件あった。「医療・福祉に対する不満」や「心理・情緒問題」が各6件あった。治療に関する相談のほかに病気の不安や現在の通院病院の不満、会社での雇用関係なども一緒に相談を受け、単なる医療相談だけにはとどまらなかった。相談対応時間は15-20分が12件ともっと多く、30分を超えるものも5件以上あった。相談内容によって、行政や福祉の窓口をご案内できるよう、各関係機関を訪問し、連携を図っている。行政や福祉関係からの問い合わせもあり、そこから教育・保育機関への指導につなげることができた。

**相談件数**

	10月	11月	12月	合計
	8	13	9	30
1日平均	1.6件	1.3件	1.0件	(5時間/日)

**相談について**

続柄	本人	親	子	配偶者	兄弟姉妹	親戚等	その他	合計
	13	10	0	3	0	0	4	30

**患者の属性**

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
	5	2	1	2	5	4	2	0	21

相談時間	10分以内	10-15分	15-20分	20-25分	25-30分	30分以上	合計
	4	8	8	3	2	5	30

**相談内容**

てんかん支援拠点病院について	12
てんかん専門医について	8
治療・検査に関すること	10
他医療機関紹介	13
初期受診勧奨	1
セカンドオピニオン	2
自立支援制度について	3
医療費相談	0
医療・福祉に関する不満	8
教育・仕事問題	0
社会福祉制度の相談	0
医療・福祉施設相談	2
生活・療養問題	2
心理・情緒問題	7
その他	3

3) てんかん地域連携・診療体制調査

大分県内の各医療機関に、てんかんに対する診療体制や提供可能な医療についての調査を実施、結果を公表した（進行中、随時更新予定）。大分県ホームページ内より結果を参照可能である。  
<https://www.pref.oita.jp/soshiki/12500/tenkan-iryoukikan.html>

4) 啓蒙・啓発活動

パープルデーに合わせ、2024年3月24日に市民公開講座を開講予定である。また、前後の期間でライトアップイベントも予定している。

5) その他・連携活動

- ・当事業コーディネーターと、その他の相談窓口（例：小児慢性疾患相談事業）のコーディネーターや相談員で定期的なミーティングを行うようにした。情報交換や事例検討を通じて、相談者へのより適切な情報提供や誘導が行えるようになることを期待している。
- ・電話相談事例から、保育園へ出張してミダゾラム口腔用液の使用法レクチャーを実施した。

3. てんかん診療・診療支援

月1回の多職種てんかんカンファレンスを開催、主に症例検討を行っている。カンファレンスはコロナ禍以降、セキュリティ上電子カルテ表示可能な専用Webカンファレンスシステムを使用してWeb併用にて実施し、当院だけでなく、県内遠隔地からも参加できるようにしている。

2023年（1月～12月）のてんかん外科手術件数は12件であった。

てんかん地域診療支援として、医師派遣により新たにてんかん専門外来を2ヶ所に開設した。

4. まとめ

2023年度中の開設となったため、本年度は活動期間が短く、活動実績の収集・記録も十分ではなかった。大分県は先行して支援拠点病院が開設された他都道府県と比較しててんかん医療資源が充足しているとは言えず、今後拠点病院活動を通じて、県内のてんかん医療体制の充実を図っていきたい。

大分県てんかん支援拠点病院  
市民公開講座  
2024年3月24日(日)  
14:00～15:00  
よこみホールホール大分 3階302会議室  
(会場は先着50名)  
※ハイブリッド開催  
知ってほしい「てんかん」のおはなし  
～知ることが支え合うための第一歩～

「てんかん～若者男女の病氣～」  
脳神経内科 竹内隆介先生

「内服治療の基本と生活への影響  
～内科治療を知る～」  
小児科 小林博先生

「支援拠点病院はじめました  
～拠点の役割と地域連携～」  
脳神経外科 松田浩幸先生

申し込み方法 (締め切り3月15日)  
1. QRコードより受付サイトにアクセスいただき、申し込みフォームに必要事項をご入力ください。  
2. 受付完了後、参加の方は、当日、ご記入済みのメールアドレスに案内メールをお送りします。  
3. 開催日時になりましたら、案内メールにアクセスして下さい。  
※案内メールは「tenkan\_public\_lecture@oita-u.ac.jp」より送信いたします。  
開催日当日は、会場が混雑する場合がございます。会場へは、公共交通機関をご利用ください。  
お問い合わせ  
tenkan\_public\_lecture@oita-u.ac.jp  
050-3613-1679 (水・木・金・公開講座当日のみ)

主催：大分大学医学部附属病院（大分県てんかん支援拠点病院）  
※大分県てんかん医療地域連携体制構築事業として実施  
後援：大分県、大分市、公益社団法人日本てんかん協会大分県支部、リヴァノワ株式会社